



特定非営利法人芸術と遊び創造協会では、2000年から病院の病棟や外来にボランティアを派遣し、子どもたちにおもちゃと遊びを届けています。2019年度は全国17か所で約80名のおもちゃコンサルタントがボランティア活動しておりました。

\*

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、2020年度以降は在宅の難病のお子さんとそのご家族に向けて、オンラインを活用した遊びの広場を開催し続けています。

\*

また、病児の遊びケアについてさまざまな角度から、長年に渡り調査・研究・実践をされている方々にお集まりいただき、定期的にセミナーを開催しています。

\*

より多くの方に「遊び」や「おもちゃ」に関心を向けていただき、病気の子どもの生活がより豊かになるよう、支え合う社会を構築する一助となれば幸いです。



おもちゃコンサルタントの「病児の遊び支援」WEBサイト




病院・乳児院などで活躍する「おもちゃコンサルタント」へのインタビュー記事など

<http://toycon-for-specialkids.strikingly.com/>

特定非営利活動法人  
**芸術と遊び創造協会**

<http://goodtoy.org/>  
四谷オフィス  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-20 東京おもちゃ美術館内  
電話 03-5367-9601  
FAX 03-5367-9602  
メール yotsuya@art-play.or.jp

 独立行政法人福祉医療機構  
社会福祉振興助成事業



# 病児の遊びとおもちゃケア

病児の遊び支援事業

医療の現場でも、おもちゃと遊びが活躍します




## 病児の遊びとおもちゃケア

子どもは遊びを通して成長するといわれるように、病気の子どもにとっても健全な成長・発達のための遊びは欠かせません。病気の子ども達が遊ぶことで少しでも苦痛や緊張を忘れて、毎日の療育生活を楽しく豊かなものになるようにという願いを込めて、私たちは活動しています。

## おもちゃコンサルタントの役割

遊びのボランティアは、心を育てる栄養を高める役割が期待できます。おもちゃは単なる時間つぶしの道具ではなく、コミュニケーションのツールです。そのことを、一緒に遊びながら伝える役割を持つのが「おもちゃコンサルタント」です。

 東京おもちゃ美術館

 芸術と遊び創造協会

## 小児病棟での遊びのボランティア

ベッドサイドや病棟内プレイルームと一緒に遊ぶおもちゃコンサルタントがやってきます。入院や通院をしている子どもたちが、遊ぶことで少しでも苦痛や緊張を忘れて、毎日の療養生活が楽しく豊かであるようにという願いを持って活動しています。



## ホスピタル・トイ・キャラバン

病院専用の移動おもちゃ美術館。全国の小児病棟に、病院で遊ぶ事を想定した多くのおもちゃを携えておもちゃコンサルタントが出向き、一緒に遊びます。病気の子どもとご家族だけでなく、医師や看護師の方にも遊んでもらって、遊びが重要であることの認識を高め、継続的な病院での遊び支援につながるようにしていくのも活動の狙いです。



## あそびのむし

### 医療ケア児ママたちの声から生まれた 難病の子どものおもちゃセット

難病の子どもとその家族にこそ遊びを！勉強のむし、仕事のむしと言われるように、「あそびのむし」になって楽しんでほしいという思いからスタートしたプロジェクト。セットは、全国のこども病院、難病児のデイケア施設、レスパイト施設、児童発達支援施設などに届けられています。  
(日本財団助成金事業)



## 病児の遊びとおもちゃケア (公開セミナー)

病児の遊びについての講演や活動実 報告のほか、実際に使用しているおもちゃの展示、手作りおもちゃの体験会などを行っています。対面で実施が出来ない時はオンラインで開催。演に加え、制限のある生活を強いられている病児への遊び支援の活動報告のほか、参加者全員でオンラインでの遊びも体験します。



## ななくま

テディベア作家さんから「病児の遊び支援に」とご寄贈いただいた7体のくまのぬいぐるみ。オンラインおもちゃの広場のアイドルベアとして、四季折々の自然や、全国各地の風景などを、Instagramにアップ。オンラインおもちゃの広場やスマイルデーの時などは、画面越しに登場します。子ども達と、様々な体験をつなぐ役目をしています。



## オンラインおもちゃの広場



虹は、希望の光  
「光輝く今を」



王冠は、主役  
「一人ひとりが  
主役の時間」



虹のまわりの  
カラフルなドットは、仲間  
「ひとりじゃない」

コロナ禍の2020年5月に誕生、以降定期的に開催している登録制の遊びの広場。オンラインの特性を活かし、おもちゃコンサルタントが一方向的に遊びを提供するのではなく、参加者との双方向性を重視している30分は、病児に不足しがちな「楽しみ」「体験」「コミュニケーション」「学習」の場となっています。



遠い地域のお友達とも交流ができ、オンラインならではの遊びが楽しいです。

緊急事態宣言中、ずっと親子で在宅でストレスフルだった中、おもちゃ広場の存在が一日の中で刺激になって親子ともども楽しめました。家族以外の人と話す機会って本当に大切だなと思いました。

## 東京おもちゃ美術館 スマイルデー (在宅の難病のお子さんご家族対象の貸切デー)

休館日に、在宅の難病のお子さんご家族の方々を東京おもちゃ美術館にご招待、貸し切りで過ごしていただくイベントデー。一緒に遊ぶお友達とも出会える事も。医師・看護師の方とも連携、たくさんの遊びのプロたちとともに、安心して楽しんでいただけます。

### オンラインスマイルデー

スマイルデーに来館を躊躇されていた方や遠方の方、ごきょうだいやご家族と一緒に、ご自宅や入院先の病室から楽しむことができるオンラインイベント。申し込み者限定で後日に録画配信があるため、当日の体調等を不安に思わず、お気軽にお申し込み・ご参加が可能です。

